



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6590 URL <https://www.shibaura.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 圭吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員経営管理本部長 (氏名) 池田 賢一 TEL 045-897-2425
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（当社ウェブサイトには決算説明資料を掲載予定です。）
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	45,457	35.0	8,316	179.7	7,782	175.0	6,139	303.1
2022年3月期第3四半期	33,669	5.4	2,973	62.2	2,830	65.0	1,523	30.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 6,371百万円 (274.8%) 2022年3月期第3四半期 1,699百万円 (31.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	1,389.23	—
2022年3月期第3四半期	344.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	77,985	29,976	38.4	6,781.14
2022年3月期	68,854	24,614	35.7	5,571.64

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 29,976百万円 2022年3月期 24,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	230.00	230.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	510.00	510.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	19.7	10,000	98.0	9,600	96.8	7,500	151.4	1,697.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	5,192,619株	2022年3月期	5,192,619株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	771,976株	2022年3月期	774,834株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	4,419,336株	2022年3月期3Q	4,416,835株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、スマートフォン、パソコン、テレビの需要減速を受け、半導体業界においてはメモリ向けを中心に一部設備投資に見直しの動きがあったものの、引き続きロジック／ファウンドリ向け、パワーデバイス向け、及びウェーハ向けなどの設備投資がいずれも堅調に推移しました。F P D (Flat Panel Display) 業界においては、設備投資が全般的に調整傾向となりました。また、いずれの業界においても部品や部材の供給が不安定な状況が続きました。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、前年同期に比べ半導体分野では増加、F P D分野では前年同期同等となり、全体では45,457百万円（前年同期比35.0%増）となりました。利益面では、半導体前工程の売上増加と利益率の改善により営業利益が8,316百万円（前年同期比179.7%増）、経常利益が7,782百万円（前年同期比175.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が6,139百万円（前年同期比303.1%増）となりました。

なお、受注高は、半導体前工程が堅調に推移しました。F P D分野では顧客の設備投資計画の見直しがあり、低調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間における受注高は58,865百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

②セグメントの業績について

主な事業セグメントの業績は次のとおりです。

(ファインメカトロニクス部門)

売上高は、半導体前工程ではロジック／ファウンドリ向け装置、パワーデバイス向け装置、及びウェーハ向け装置がいずれも順調に推移し、前年同期に比べ増加しました。一方、F P D前工程では前年同期に比べ減少しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ増収となり、31,210百万円（前年同期比47.0%増）となりました。

セグメント利益は、半導体前工程での売上増加、F P D前工程でも利益率が改善したことなどから、6,920百万円（前年同期比334.8%増）となりました。

なお、受注高は、半導体前工程が全体として堅調に推移しました。F P D前工程では大型パネル向け装置、中小型パネル向け装置とも低調に推移しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高が増加し、44,816百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

売上高は、半導体後工程では先端パッケージ向け装置を中心に堅調に推移し、前年同期同等となりました。F P D後工程では前年度順調であった受注高を受けテレビ、モニタ用途の大型パネル向け装置を中心に堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。真空応用装置では電子部品向けや半導体分野向けが堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ増収となり、11,185百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

セグメント利益は、売上増加により1,588百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

なお、受注高は、半導体後工程では当第3四半期連結会計期間に一部顧客の投資計画の見直しがあり、低調に推移しました。F P D後工程ではモニタ用パネル向け装置、車載用パネル向け装置で受注があったものの、低調に推移しました。真空応用装置では電子部品向け、半導体分野向けを中心に順調に推移しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高が減少し、10,955百万円（前年同期比29.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9,131百万円増加し77,985百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,955百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が4,789百万円、仕掛品が2,106百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,768百万円増加し48,008百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,681百万円、電子記録債務が1,221百万円、前受金が2,816百万円増加した一方で短期借入金が500百万円、1年内返済予定の長期借入金が800百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,362百万円増加し29,976百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益6,139百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正につきましては、本日(2023年2月8日)公表しました「2023年3月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,316	28,271
受取手形、売掛金及び契約資産	24,935	29,724
電子記録債権	717	820
商品及び製品	1,427	1,303
仕掛品	1,981	4,087
原材料及び貯蔵品	163	203
未収入金	1,845	1,896
その他	335	382
貸倒引当金	△1,521	△1,404
流動資産合計	56,201	65,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,180	28,498
減価償却累計額	△20,129	△20,392
建物及び構築物（純額）	8,051	8,106
機械装置及び運搬具	6,447	6,545
減価償却累計額	△4,978	△5,420
機械装置及び運搬具（純額）	1,469	1,125
工具、器具及び備品	1,192	1,220
減価償却累計額	△1,000	△1,031
工具、器具及び備品（純額）	191	189
土地	119	119
リース資産	97	94
減価償却累計額	△51	△59
リース資産（純額）	46	35
建設仮勘定	957	1,471
有形固定資産合計	10,835	11,048
無形固定資産		
特許権	369	386
その他	231	214
無形固定資産合計	600	601
投資その他の資産		
投資有価証券	52	52
長期前払費用	14	13
繰延税金資産	934	774
その他	219	213
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	1,216	1,049
固定資産合計	12,652	12,699
資産合計	68,854	77,985

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,240	12,922
電子記録債務	3,020	4,241
短期借入金	4,350	3,850
1年内返済予定の長期借入金	800	—
リース債務	17	16
未払法人税等	1,249	1,071
未払費用	3,087	3,038
前受金	3,852	6,669
役員賞与引当金	62	67
受注損失引当金	8	18
製品保証引当金	120	153
その他	1,297	968
流動負債合計	29,106	33,017
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
リース債務	34	23
退職給付に係る負債	6,620	6,479
役員退職慰労引当金	24	27
修繕引当金	309	316
資産除去債務	67	67
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	15,133	14,991
負債合計	44,240	48,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,037	9,037
利益剰余金	12,695	17,817
自己株式	△4,007	△3,997
株主資本合計	24,487	29,618
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	423	570
退職給付に係る調整累計額	△297	△212
その他の包括利益累計額合計	126	358
純資産合計	24,614	29,976
負債純資産合計	68,854	77,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	33,669	45,457
売上原価	22,364	27,804
売上総利益	11,304	17,652
販売費及び一般管理費	8,330	9,336
営業利益	2,973	8,316
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	17	—
為替差益	87	95
その他	33	45
営業外収益合計	140	144
営業外費用		
支払利息	68	59
デリバティブ評価損	104	500
その他	111	118
営業外費用合計	284	678
経常利益	2,830	7,782
特別損失		
事業構造改善費用	613	—
特別損失合計	613	—
税金等調整前四半期純利益	2,217	7,782
法人税、住民税及び事業税	586	1,482
法人税等調整額	107	160
法人税等合計	693	1,643
四半期純利益	1,523	6,139
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,523	6,139

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,523	6,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	—
為替換算調整勘定	86	146
退職給付に係る調整額	105	84
その他の包括利益合計	176	231
四半期包括利益	1,699	6,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,699	6,371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	21,230	9,567	1,459	1,412	33,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	166	—	68	259
計	21,254	9,734	1,459	1,481	33,928
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,591	1,359	△16	399	3,333

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,333
全社費用(注)	△355
その他	△147
四半期連結損益計算書の経常利益	2,830

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファインメカトロニクス」セグメントにおいて、横浜事業所内再開発の一環として老朽化した建物を取り壊したことに伴う減損損失214百万円を特別損失(事業構造改善費用)として計上いたしました。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	31,210	11,185	1,663	1,397	45,457
セグメント間の内部売上高又は振替高	35	166	0	68	271
計	31,245	11,352	1,663	1,466	45,728
セグメント利益	6,920	1,588	45	373	8,928

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,928
全社費用（注）	△622
その他	△523
四半期連結損益計算書の経常利益	7,782

（注）全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。